

<業務内容>

1 作業準備

作業前に次の事項を必要に応じ行う。

- (1) プールの構造、材質の確認
- (2) 校舎とプール間における分岐電源の復旧通電
- (3) 校舎とプール間における給水配管の復旧通水
- (4) バルブ専用ハンドルの確保
- (5) プール各種バルブ（排水、水位調整、循環水抜、循環切替）の開放又は閉鎖
- (6) 加圧ポンプの作動
- (7) 電磁弁の閉鎖
- (8) 汚水泵の作動
- (9) 備品等の移動

2 作業内容

(1) 排水

ア 学校が事前に水位20cm～30cm程度になるまで排水しているため、全部換水を行うために必要な排水措置を行う。

イ 水位調整貯水槽内の排水に必要な措置を行う。

(2) スキマー

プール内のスキマーを撤去回収し、回収したスキマーは、洗浄しプールサイド清掃終了後取り付ける。

(3) 上屋壁面

プールサイド床面より高さ2m程度の構造鉄骨、胴縁、タオル掛を形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。

(4) プールサイド

ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。

イ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液（濃度100ppm程度）を均一散布し、圧流水で流し、残留水を除去して仕上げる（以下「殺菌洗浄」という）。

(5) プールサイド排水溝

形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

(6) 洗体設備

ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

イ 腰洗槽及びフートバスは、残留水を除去して仕上げる。

(7) オーバーフロー

ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

イ デッキレベル型オーバーフローは、汚れがある部分は可能であればグレーティングを取り外して殺菌洗浄する。

(ア) グレーティングを止めてあるビス等を取り外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。

(イ) グレーティングを取り外し、その裏面に番号を書きこむ。

(ウ) 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

(エ) グレーティング裏面の番号どおり取り付ける。

(オ) 設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。

(8) プール本体（壁面）

ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。

イ リセス型等低水位オーバーフロー設置校は、残留水を除去して仕上げる。

(9) プール本体（底面）

- ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄し、残留水を集水マスへ落とし込む。
逆流する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
- イ 底面陥没等により残留水が滞留する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
- ウ 水位調整貯水槽を形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、残留水を揚水ポンプを用いて排出する（水位調整貯水槽設置校のみ）。
- エ 水位調整貯水槽の砂溜り部分の残留物を、湿式掃除機等で除去する（水位調整貯水槽設置校のみ）。

(10) 集水マス

- ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- イ 汚れがある部分は格子蓋を取り外し、形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- (ア) 格子蓋を止めてあるネジ等を取り外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。
- (イ) 砂溜り部分の土砂及び汚水は、湿式掃除機や揚水ポンプを用いて排出する。
- (ウ) 底面給水方式の場合は、給水管と排水管の分岐点までの管内部を洗浄する。
- (エ) 設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。

(11) 底面吐水金具とガーター溝

- ア ガーター溝の滞留水を湿式掃除機や残水処理装置等を用いて除去する。
- イ 汚れがある部分は、ガーター溝にグレーチングがある場合は、グレーチングを取り外し作業する。
- (ア) グレーチングを止めてあるビス等を取り外し、ビス等を止めてあった場所がわかるよう分類して保管する。
- (イ) グレーチングを取り外し、その裏面に番号を書きこむ。
- (ウ) ガーター溝の滞留水を湿式掃除機や残水処理装置等を用いて除去する。
- (エ) グレーチング裏面の番号どおり取り付ける。
- (オ) 設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。
- ウ 底面吐水金具とガーター溝のグレーチングのビスを確認し、突出している場合は増締めする。また、ビス等無い場合やその他異常を発見した場合は各学校のプール担当者に連絡し確認すること。

(12) 給水

- 清掃を終了した場合は、次の事項を必要に応じて行い、プール内に委託者が指定する水位まで給水する。
- ア 排水管、循環水管を通水洗浄する。
 - イ 貯水に必要な各種バルブを閉鎖する。
 - ウ 指定水位にするための水位調整操作を行う。
 - エ 満水状態で滞りなく循環ろ過運転ができるための操作を行う。